

## 2014年度関東学連第一回臨時総会議事録

日時：5月24日 22:30

場所：大戸公民館

記録者：砂原和允

議長：椎名麻美(茨城)

出席 東京 筑波 千葉 横国 一橋 駿河台 立教 実践 津田塾 十文字  
慶応 早稲田 相模女子 横市 日本女子 お茶の水女子 茨城 農工

遅刻 東工 横国

欠席 電通

議長 椎名麻美(茨城) 承認

### 0.目次

1. ロングセレの運用について
2. 推薦規約について
3. 新人戦の日程について
4. 次回総会の日程・議長の選出

### 1.ロングセレの運用について

昨年ロングセレをMEで走ったのは120人、ミドルは145人。

この人数が同一レーンで走るとトップスタートからラストスタートまでの差が2時間半くらいになる。

そうなるとトップスタートとラストスタートの人の差が出るのはもちろん運営者にも凄い負担になっている。昨年度の日数が日光でセレができるギリギリの人数だったのではないかと思われる。

上の文章を踏まえての各大学の意見は以下の通りである。

筑波 併設のセレクションでないコースがあるので、セレクションに参加するのはセレクションに通過したいという意味のあるものだけに絞ればいいのではないか。

数年後に併設とセレクションクラス半々くらいになるように意識改革をしていけば問題の解決になるのではないか。

東大 通過しないような実力の人でもセレクションを走りたいという人が出づらくなってしまうのでよくないのではないか。また、全員が走らないと学生オリエンテーリング連盟の底上げにならないと思われる。

バタフライループに関しては、その部分が違ってほとんど一緒になってしまうから結局人数があふれてしまってよくないのではないか。

筑波 底上げというのはAとFの差ではないか。それを感じるためにも併設でセレに似たようなコースもしくは同じコースを走って体感すれば十分ではないか。

石井 近場のトレインであってもロングやミドルと似たような地図でセレを行うべきであるので近いからという理由だけで選ぶべきではないのではないか。

東大 予備セレはあまり時間がないからよくないのではないか。運営者としては2回セレを行う理由はないのではないかということ。

早稲田 1年の段階でセレクラスを走れないと、走る楽しみを奪ってしまうことになる。

以上の意見を踏まえ、考えられる選択肢としては

- ① 予備セレを行う(この場合はどのような理由で2回セレをするのかも加える)
  - ② バタフライループをつけて分散させる
  - ③ 意思のある人だけセレクションレースに参加する
  - ④ 近場のトレインで行う
- の4つが考えられる。

それぞれのメリットデメリットを以下に示す。

- ① メリット 2回行うことで人を分散でき、時間的に余裕ができる。  
デメリット 2回行うと運営者の負担が大きくなってしまう。
- ② メリット 分散させることができる。  
デメリット 同じコースを走るのバタフライループ終わった後に結局パックしやすくなってしまう。
- ③ メリット 分離することができれば時間的な制約に縛られずにできる。  
デメリット 誰にも与えられた権利を行使することができない可能性が出てしまう。
- ④ メリット 早い時間からできるので1日で行うことができる。運営的に楽。  
デメリット テレインが限られている、実際のインカレに近いテレインがない可能性がある。近いの定義があいまい。一時しのぎでしかない。

この意見を元にクラブに持ち帰って話をする。どれがよいのかというのを話し合っておくこと。

何か新しい意見が出た場合もそれを報告して総会に持ち帰ってくるように。

## 2. 推薦規約について

各大学にて持ち帰って話した内容を以下で示す。

東京 関東学連総会が良い。ただ、多くの人は現在の学連では心もと感じているので各大学がもっと意見を持ち寄って活発に意見をすることを条件とする。推薦規約を消すということも視野に入れてもいいのではないか。

筑波 関東学連で話すしかない。ただし長期的に諮問委員会を発足してやるべき。諮問委員はそこまで大きな負担ではないのではないか。なぜなら推薦について年二回程度話し合うだけであるから。票数としてはクラブの人数比で票数を割り当ててやっていくのが良いと思う。

東工 関東学連総会で行うのがいい。票数としては不公平が生まれてしまうのでクラブで1票が良いのではないか。

千葉 関東学連でやるしかない。セレ実行委員会はセレ運営だけで手いっぱいなので実行委員が推薦に携わることはできない。

横国 学連で決めるべき。推薦規約を改正している時点で関東学連が決めるべきではないか。基準を決めるというのは難しいが、話し合っていて深めていくべき。

一橋 関東学連に任せるべき。私情をなくすための推薦規約であるのでこれを使うべきではないか。サークルで1票は良くない。主観が入らないようにすればサークルで1票にする必要は全くない。

駿河 関東学連で決めるべき。票数としてはクラブで1票になった方が良い。加盟人数などにも差があり、数の暴力もあるから。

立教 技術諮問委員会が無理なら関東学連でいいのではないか。

実践 関東学連主体。学生のことは学生ですべき。技術諮問委員会はOB・OG1年目だと卒業と共に就職してしまうのでお願いできる人がいない。

津田塾 関東学連が良い。他の二つが現実的でないなら仕方がない。

十文字 関東学連が良い。現役の問題は現役で解決すべきである。

慶應 関東学連が良い。問題を解決できる手段として今はこれが最も現実的。  
現在日本学連の諮問委員会すら決まっていない状態なのでもう一人関東学連に出す  
というのは厳しい。

早稲田 関東学連が良い。自分が OB,OG になった時やりたくない。現役のことは現役で決  
めるべきではないか。

相模女子 関東学連が良い。技術委員の復活は難しい。OB,OG であっても主観が取り除け  
ないのではないかと。推薦する人の意見を実際にきってもらって聞くということに  
すれば生の意見が聞けるのでよいのではないかと。

横浜市 関東学連が良い。技術諮問委員会は負担。推薦規約を修正したのだから関東学連がや  
るべき。

茨城 関東学連が良い。推薦される人を会議に招待し、理由等々を話してもらって決めてい  
けばいいのではないかと。

農工 関東学連が良い。透明性がある。話し合いの内容がわかる。OB,OG にやってくれる  
人がいなさそう。

本女 できれば技術諮問委員会が良い。ただ、日本学連の技術諮問に委員も難しいのでクラ  
ブごとに一人技術諮問委員会を出せば何とか人を出すことができるのではないかと。  
これでも難しいなら関東学連が決めるということで良いと思う。

お茶 関東学連が良い。一番現実的、昨年度変えたのだからそれを使えばよい。ただ推薦は  
実際本当に必要なのかとも感じている。その第にあったことをしていくべきである  
のでもう一度推薦が必要なのかどうかこの第でもう一度話し合ってもよいのではな  
いか。現在の状況では関東学連は妥協案となってしまう。そのため、時間をか  
けても革新的な意見は出ないので推薦をもう一度話し合っ根本的なところから考  
えていくべきではないかと。

一通り意見を聞いた後に各大学に対する意見を募ったところ出てきた話を以下に挙げる。

東京 なぜクラブで1票なのか。学連の普通の採決ではどの大学も1票持っているのに推薦だけ異なるのはおかしい。どの大学も主体的に考えた結果なのだから否定するのはよくない。

筑波 それは学連の票の方法を変えればいいのではないか。

東京 昨年推薦規約で問題になったものはOLK内で意見が分かれた。クラブという定義があいまいだし、また新たな議論が出てきて根本的な解決にならないのではないか。

筑波 部員の数の多さによって票数が違うのはやはりよくないのではないか。

戸上 毎年推薦規約の有無を話し合っ決めてするのも良いのでは。

一橋 コロコロ変えていると学連の話し合いに対する信頼が薄れてしまうのではないか。

戸上 もともと推薦を行うかどうかを最初の総会前に決めてしまえば毎年行っていれば信用度がさがらないと思われる。

石井 そもそも議論しきっている推薦規約について話し合う時間ももったいないと思う。

東京 クラブで一票だと最大の売りである公平性が欠けてしまう。OB,OGに推薦で通す・落とすを決めさせるというのは大きな精神的負担ではないか。

	関東学連	技術諮問委員会	セレ実行委員会
賛成	19	0	0

以上の結果より全会一致で関東学連総会を判断主体とすることが決まりました。

ただし、この問題に関してはまだ未熟なものがあるので議論を継続して続けていくという必要がある。

今回の議論で出た新たな判断方法を次回話し合うときに話していく必要があると思われる。

#### 4. 新人戦の日程について

この話を持ってきた慶應の小泉から

北里大学の授業開始が9月頭からであり、前回総会にて決まった日程では参加することができない。

ただ、ずらせるならずらしたいが、もし難しいのであれば仕方がないと思っている。

この意見を踏まえ考慮した結果

- ① 新人戦日程を決めた時点で加盟校でなく準加盟校であった。
- ② 9月が無理だと土日運営もしくは8月開催になってしまう。そのため、これ以外の日程にて行うことが難しいと考えられる。

以上2つの点から今回は新人戦の日程は9月17日のままで行うということが決定いたしました。

### **3. 次回総会の日程・議長の選出**

7月5日 場所：東京工業大学

議長：見目憲秋(早稲田)